

タンパク質蛍光ラベル化用酵素基質 ～天然物から得られた抗体で、 化学修飾法の欠点がありません～

発明者：国立大学法人九州大学

発明分野

医薬(DDS・抗体医薬等)・バイオ

背景

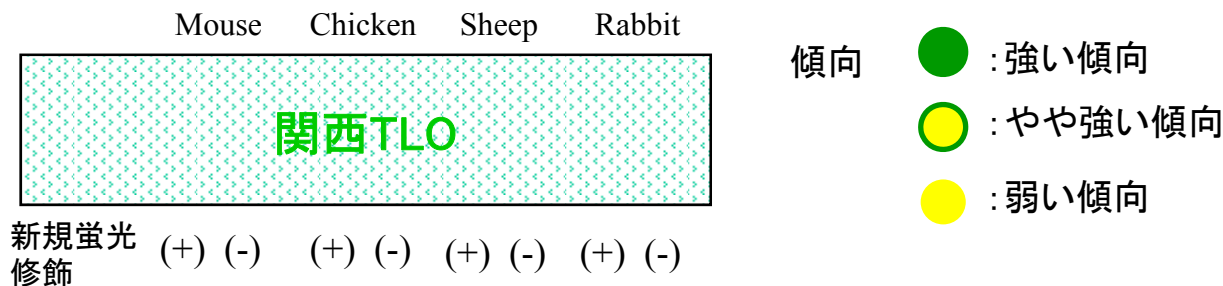
サンプル中の特定物質の分析において、抗原抗体反応を利用するイムノアッセイは、高感度で特異性の高い方法としてバイオアッセイの中心的な方法として使用されている。しかしながら抗体はタンパク質であり、抗原認識能が失われる欠点がある。そこで、抗体を修飾する技術が必要であるが、これら技術は化学修飾法であり、導入数・導入部位に制約が生じている。

発明の概要

今回、微生物由来で、天然物中に多く存在している **関西TLO** の1種を見つけ出した。本発明は、それら物質を用いて、抗体修飾への応用を試み、タグ導入部位選択的な組換えタンパク質の蛍光標識化である。また、本方法は、タグ導入などの遺伝子工学的な組換えを必要とせず、抗体そのものへ蛍光基質を導入できる 汎用性の高い新規修飾法 である。

用途

バイオイメージング、DDS、抗体医薬への応用が期待される。



図：本修飾を用いた蛍光



図：上記蛍光度合



関西TLO

Technology Licensing Organization

連絡先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
東塩小路町939番地 キャンパスプラザ京都6F
TEL (075)353-5890 / FAX (075)353-5891
E-mail : tlo@kansai-tlo.co.jp